



NetAppがサポートしているプラグイン SnapCenter software

NetApp
November 06, 2025

目次

NetAppがサポートしているプラグイン	1
NetAppがサポートしているプラグインの概要	1
NetAppがサポートしているプラグインの機能	1
NetAppがサポートしているプラグインの特長	2
NetAppがサポートしているプラグインでサポートされるストレージ タイプ	3
NetAppがサポートしているプラグインに必要な最小ONTAP権限	3
NetAppがサポートしているプラグインでSnapMirrorおよび SnapVaultレプリケーションを使うためのストレージ システムの準備	6
バックアップ戦略の定義	6
NetAppがサポートしているプラグインのバックアップ戦略	7
NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップ スケジュール	7
必要なバックアップ ジョブの数	8
手動で追加したNetAppがサポートしているプラグイン	8
リソースでサポートされるリストア戦略のタイプ	
リソース全体のリストア	8
ファイルレベルのリストア	8

NetAppがサポートしているプラグイン

NetAppがサポートしているプラグインの概要

使用するアプリケーションには、MongoDB、ORASCPM (Oracle アプリケーション)、SAP ASE、SAP MaxDB、ストレージ プラグインなどのNetApp対応プラグインを使用し、SnapCenterを使用してこれらのアプリケーションをバックアップ、復元、またはクローン化できます。NetAppがサポートしているプラグインは、NetApp SnapCenterソフトウェアのホスト側コンポーネントとして動作し、アプリケーションに対応したリソースのデータ保護と管理を提供します。

NetAppがサポートしているプラグインをインストールすると、SnapCenterとNetApp SnapMirrorテクノロジーを使用して別のボリュームのバックアップセットのミラー コピーを作成し、NetApp SnapVaultテクノロジーを使用してディスクツーディスクのバックアップレプリケーションを実行できます。NetAppがサポートしているプラグインは、WindowsとLinuxのどちらの環境でも使用できます。



SnapCenterCLIでは、NetAppがサポートしているプラグイン コマンドはサポートされません。

NetApp は、SnapCenterに組み込まれたプラグイン フレームワークを使用してONTAPストレージ上のデータボリュームのデータ保護操作を実行するためのストレージ プラグインを提供します。

NetAppでサポートされているプラグインは、「ホストの追加」ページからインストールできます。

"ホストを追加し、リモート ホストにプラグイン パッケージをインストールします。"



SnapCenterサポート ポリシーは、プラグイン フレームワーク、コア エンジン、および関連 API のサポートをカバーします。プラグインのソース コードおよびプラグイン フレームワーク上に構築された関連スクリプトはサポートの対象外となります。

NetAppがサポートしているプラグインの機能

データ保護操作には、MongoDB、ORASCPM、Oracle Applications、SAP ASE、SAP MaxDB、ストレージ プラグインなどのNetAppがサポートするプラグインを使用できます。

- データベース、インスタンス、ドキュメント、表領域などのリソースを追加します。
- バックアップを作成します。
- バックアップからリストアします。
- バックアップをクローニングします。
- バックアップ処理のスケジュールを設定します。
- バックアップ、リストア、クローニングの各処理を監視します。
- バックアップ、リストア、クローニングの各処理のレポートを表示します。

データ保護操作には、NetAppがサポートするプラグインを使用できます。

- ONTAPクラスタ間でストレージ ボリュームの整合グループSnapshotを作成します。
- 組み込みのプレ / ポスト スクリプト フレームワークを使用して、カスタム アプリケーションをバックアップします。

ONTAPボリューム、LUN、またはqtreeをバックアップできます。

- SnapCenterポリシーを使用して、既存のレプリケーション関係（SnapVault / SnapMirror / ユニファイドレプリケーション）を利用して、プライマリで作成されたSnapshotをONTAPセカンダリに更新します。

ONTAPプライマリおよびセカンダリには、ONTAP FAS、AFF、ASA、ONTAP Select、またはCloud Volumes ONTAP を使用できます。

- ONTAPボリューム、LUN、またはファイル全体をリカバリします。

ブラウズ機能またはインデックス機能が製品に組み込まれていないため、それぞれのファイル パスを手動で指定する必要があります。

qtreeまたはディレクトリのリストアはサポートされていませんが、バックアップ範囲がqtreeレベルで定義されている場合は、qtreeに限りクローニングとエクスポートを実行できます。

NetAppがサポートしているプラグインの特長

SnapCenterは、プラグイン アプリケーションと統合されるほか、ストレージ システム上でNetAppの数々のテクノロジーと統合されます。MongoDB、ORASCPM (Oracle アプリケーション)、SAP ASE、SAP MaxDB、ストレージ プラグインなどのNetApp対応プラグインを操作するには、SnapCenterグラフィカル ユーザー インターフェイスを使用します。

- 統合されたグラフィカルユーザーインターフェース

SnapCenterのインターフェイスは、すべてのプラグインと環境で標準化され、一貫しています。どのプラグインでも、SnapCenterのインターフェイスから、バックアップ、リストア、リカバリ、クローニングの各処理を一貫した方法で実行できるほか、ダッシュボード ビューで概要を把握したり、ロールベース アクセス制御 (RBAC) を設定したり、ジョブを監視したりすることができます。

- 自動化された中央管理

バックアップ処理のスケジュールを設定したり、ポリシーベースのバックアップ保持を設定したり、リストア処理を実行したりできます。SnapCenterからのEメール アラートの送信を設定して、環境をプロアクティブに監視することもできます。

- 無停止のNetAppスナップショットテクノロジー

SnapCenterでは、NetAppがサポートしているプラグインでNetApp Snapshotテクノロジーを使用してリソースがバックアップされます。Snapshotはストレージ スペースを最小限しか消費しません。

NetAppがサポートするプラグインには、次のような利点もあります。

- バックアップ、リストア、およびクローニングのワークフローがサポートされます。

- セキュリティがRBACでサポートされ、ロール委譲が一元化されます。

クレデンシャルを設定して、許可されたSnapCenterユーザにアプリケーションレベルのアクセス権を付与することもできます。

- NetApp FlexCloneテクノロジーを使用して、テストまたはデータ抽出に使用するリソースのコピー（スペース効率に優れたポイントインタイム コピー）を作成できます。

クローンを作成するストレージ システムにFlexCloneライセンスが必要です。

- バックアップの作成でONTAPの整合グループ（CG）のSnapshot機能がサポートされます。
- 複数のリソース ホストで同時に複数のバックアップを実行できます。

1回の処理で、1つのホストの複数のリソースが同じボリュームを共有する場合に複数のSnapshotが統合されます。

- 外部コマンドを使用してSnapshotを作成できます。
- Windows環境でファイルシステムと整合性のあるSnapshotを作成できます。

NetAppがサポートしているプラグインでサポートされるストレージタイプ

SnapCenterは、物理マシンと仮想マシンの両方でさまざまなストレージ タイプをサポートしています。NetAppがサポートしているプラグインをインストールする前に、ストレージタイプがサポートされているかどうかを確認する必要があります。

マシン	ストレージタイプ
VMホストへの物理およびNFSの直接マウント（VMDKとRDM LUNはサポートされていません）。	FC接続LUN
VMホストへの物理およびNFSの直接マウント（VMDKとRDM LUNはサポートされていません）。	iSCSI接続LUN
VMホストへの物理およびNFSの直接マウント（VMDKとRDM LUNはサポートされていません）。	NFS接続ボリューム
VMware ESXi	NFSとSANの両方に存在するvVolデータストア vVolデータストアは、ONTAP Tools for VMware vSphereでのみプロビジョニングできます。

NetAppがサポートしているプラグインに必要な最小ONTAP権限

必要な最小ONTAP権限は、データ保護に使用するSnapCenterプラグインによって異なる

ります。

- 全アクセス コマンド: ONTAP 9.12.1 以降に必要な最小限の権限
 - event generate-autosupport-log
 - job history show
 - job stop
 - lun attribute show
 - lun create
 - lun delete
 - lun geometry
 - lun igroup add
 - lun igroup create
 - lun igroup delete
 - lun igroup rename
 - lun igroup show
 - lun mapping add-reporting-nodes
 - lun mapping create
 - lun mapping delete
 - lun mapping remove-reporting-nodes
 - lun mapping show
 - lun modify
 - lun move-in-volume
 - lun offline
 - lun online
 - lun resize
 - lun serial
 - lun show
 - ネットワークインターフェース
 - snapmirror policy add-rule
 - snapmirror policy modify-rule
 - snapmirror policy remove-rule
 - snapmirror policy show
 - snapmirror restore
 - snapmirror show
 - snapmirror show-history
 - snapmirror update
 - snapmirror update-ls-set
 - snapmirror list-destinations

- version
- volume clone create
- volume clone show
- volume clone split start
- volume clone split stop
- volume create
- volume destroy
- volume file clone create
- volume file show-disk-usage
- volume offline
- volume online
- volume modify
- volume qtree create
- volume qtree delete
- volume qtree modify
- volume qtree show
- volume restrict
- volume show
- volume snapshot create
- volume snapshot delete
- volume snapshot modify
- volume snapshot rename
- volume snapshot restore
- volume snapshot restore-file
- volume snapshot show
- volume unmount
- vservers cifs
- vservers cifs share create
- vservers cifs share delete
- vservers cifs shadowcopy show
- vservers cifs share show
- vservers cifs show
- vservers export-policy create
- vservers export-policy delete
- vservers export-policy rule create
- vservers export-policy rule show
- vservers export-policy show

- vservers iscsi connection show
- vservers show
- 読み取り専用コマンド: ONTAP 8.3.0以降に必要な最小限の権限
 - ネットワークインターフェース

NetAppがサポートしているプラグインでSnapMirrorおよびSnapVaultレプリケーションを使うためのストレージシステムの準備

SnapCenterプラグインと一緒にONTAP SnapMirrorテクノロジーを使用すると、バックアップセットのミラー コピーを別のボリュームに作成できます。また、ONTAP SnapVaultを使用すれば、標準への準拠やその他のガバナンスを目的としたディスクツーディスクのバックアップレプリケーションを実行できます。これらのタスクを実行する前に、ソース ボリュームとデスティネーション ボリュームの間にデータ保護関係を設定し、その関係を初期化する必要があります。

SnapCenterは、Snapshot処理の完了後に、SnapMirrorとSnapVaultに対する更新を実行します。SnapMirror更新とSnapVault更新は、SnapCenterジョブの一部として実行されるため、ONTAPスケジュールを別途作成しないでください。



NetApp SnapManager製品からSnapCenterに移行した場合、データ保護関係が適切に設定されていれば、このセクションは省略してかまいません。

データ保護関係では、プライマリ ストレージ (ソース ボリューム) 上のデータがセカンダリ ストレージ (デスティネーション ボリューム) にレプリケートされます。この関係を初期化すると、ソース ボリュームで参照されるデータ ブロックがデスティネーション ボリュームに転送されます。



SnapCenter は、SnapMirrorとSnapVaultボリューム間のカスケード関係をサポートしていません (* プライマリ * > ミラー > ボールト)。ファンアウト関係を使用する必要があります。

SnapCenterは、バージョンに依存しないSnapMirror関係の管理をサポートしています。バージョンに依存しないSnapMirror関係とその設定方法の詳細については、"[ONTAPのドキュメント](#)"。

バックアップ戦略の定義

バックアップ ジョブを作成する前にバックアップ戦略を定義しておくこと、リソースの正常なリストアやクローニングに必要なバックアップを確実に作成できます。バックアップ戦略の大部分は、サービス レベル アグリーメント (SLA)、目標復旧時間 (RTO)、および目標復旧時点 (RPO) によって決まります。

タスク概要

SLAとは、求められるサービス レベル、およびサービスに関連する多くの問題 (サービスの可用性やパフォーマンスなど) への対応を定義したものです。RTOは、サービスの停止からビジネス プロセスの復旧までに必要となる時間です。RPOは、障害発生後に通常処理を再開するためにバックアップ ストレージからリカバリする必要があるファイルの経過時間に関する戦略を定義したものです。SLA、RTO、およびRPOは、デー

タ保護戦略に関与します。

手順

1. リソースをバックアップするタイミングを決定します。
2. 必要なバックアップ ジョブの数を決定します。
3. バックアップの命名方法を決定します。
4. 整合グループSnapshotを保持するかどうかを決定し、保持する場合は整合グループSnapshotを削除する適切なオプションを決定します。
5. レプリケーションのためにNetApp SnapMirrorテクノロジーを使用するか、または長期保持のためにNetApp SnapVaultテクノロジーを使用するかを決定します。
6. ソース ストレージ システムおよびSnapMirrorデスティネーションでのSnapshotの保持期間を確認します。
7. バックアップ処理の前後にコマンドを実行するかどうかを決定し、実行する場合はプリスクリプトまたはポストスクリプトを用意します。

NetAppがサポートしているプラグインのバックアップ戦略

NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップ スケジュール

バックアップのスケジュールを決定する場合に最も重要な要因となるのは、リソースの変更率です。リソースをバックアップする回数が多いほど、リストア時にSnapCenterが使用する必要のあるアーカイブ ログの数が少なくなります。これにより、リストア処理の時間を短縮できます。

使用頻度の高いリソースは1時間ごとにバックアップする必要がありますが、ほとんど使用されないリソースは1日に1回バックアップすれば十分です。その他の要因としては、組織におけるリソースの重要性、サービス レベル アグリーメント (SLA) 、目標復旧時点 (RPO) などがあります。

SLAとは、求められるサービス レベル、およびサービスに関連する多くの問題（サービスの可用性やパフォーマンスなど）への対応を定義したものです。RPOは、障害発生後に通常処理を再開するためにバックアップ ストレージからリカバリする必要があるファイルの経過時間に関する戦略を定義したものです。SLAとRPOは、データ保護戦略に関与します。

バックアップ スケジュールには、次の2つの要素があります。

- バックアップ頻度

バックアップ頻度（バックアップを実行する間隔）は、ポリシー設定の一部であり、一部のプラグインではスケジュール タイプとも呼ばれます。たとえば、毎時、毎日、毎週、または毎月としてバックアップ頻度を設定できます。SnapCenter GUI で [設定] > [ポリシー] をクリックすると、ポリシーにアクセスできます。

- バックアップ スケジュール

バックアップ スケジュール（バックアップが実行される日時）は、リソースまたはリソース グループの設定の一部です。たとえば、週次バックアップのポリシーが設定されているリソース グループがある場合、毎週木曜日の午後 10 時にバックアップするようにスケジュールを設定できます。SnapCenter GUI でリソース グループのスケジュールにアクセスするには、[リソース] をクリックし、適切なプラグインを選

択して、[表示]>[リソース グループ]をクリックします。

必要なバックアップ ジョブの数

必要なバックアップ ジョブの数を左右する要因としては、リソースのサイズ、使用中のボリュームの数、リソースの変更率、サービス レベル アグリーメント (SLA) などがあります。

通常、選択するバックアップ ジョブの数は、リソースが配置されているボリュームの数に応じて決まります。たとえば、あるボリュームに小規模なリソースのグループを配置しており、別のボリュームに1つの大規模なリソースを配置している場合は、小規模なリソース用のバックアップ ジョブと大規模なリソース用のバックアップ ジョブを1つずつ作成できます。

手動で追加したNetAppがサポートしているプラグイン リソースでサポートされるリストア戦略のタイプ

SnapCenterを使用してリストア処理を正常に実行するには、戦略を定義しておく必要があります。手動で追加したNetAppがサポートしているプラグイン リソースのリストア戦略には、2つのタイプがあります。



手動で追加したNetAppがサポートしているプラグイン リソースはリカバリできません。

リソース全体のリストア

- リソースのすべてのボリューム、qtree、およびLUNをリストア



リソースにボリュームまたはqtreeが含まれている場合、そのボリュームまたはqtreeのリストア用のSnapshotが選択されたあとに作成されたSnapshotは削除され、リカバリすることはできません。また、同じボリュームまたはqtreeで他のリソースがホストされている場合、そのリソースも削除されます。

ファイルレベルのリストア

- ボリューム、qtree、またはディレクトリからファイルをリストア
- 選択したLUNのみをリストア

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。